



区を豊かに

2015年
3月31日発行
第13号

発行者

新潟市西区自治協議会 会長 真嶋 民雄

事務局

〒950-2097

新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内

TEL : 025-264-7161 FAX : 025-269-1650

E-mail : chiiki.w@city.niigata.lg.jp

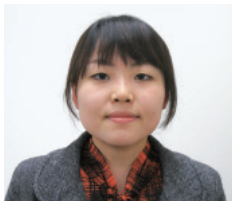


西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、くろさき茶豆、佐湯の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

2号委員 (公共的団体選出)

新潟国際情報大学

日木 公美子



地域課題について真剣に話し合う方々の姿を間近で見ることができ、そこに自分も参加し、

のびのびと活動できたのは皆様のおかげです。ありがとうございました。

学んだことを折に触れて思い出し、生活の中で活かしていきたいと思えます。来期の委員の皆様、陰ながら応援しています。

1号委員 (コミュニティ協議会選出)

五十嵐小学校区コミュニティ協議会

山田 昌夫



2年間の活動を通じ、これまでの地元地域中心の目線が西区へと広角的になりました。

また、会議での立場や地域の異なる皆さんの熱心な発言に接し、視点の捉え方の違いなど大変参考となりました。地域代表としては自身の地域発信力不足を感じていますが、来期委員の活躍を願い、今後の自治協活動を応援したいと思います。

自治協委員の任期を終えて

— 来期委員へのメッセージ —

名残惜しいですが、皆さんどこかでまたお会いしましょう。
長い間お疲れ様でした。

4号委員 (公募)

石丸 幸子



合併して大都市になった新潟市の新システム「区自治協議会」の第3・4期に公募委員として

参加できました。「特色ある区づくり」や行政との「協働」が試されました。

広報紙「西区を豊かに」の編集に創刊号からかわれたこと、「西区アートフェスティバル」で多くの「西区の宝」を発見できたことは、貴重で楽しい体験でした。第5期に期待します。

2号委員 (公共的団体選出)

佐湯と歩む赤塚の会

斎藤 敏夫



地域資源を生かした観光産業づくりはできないか！5年先、10年先を見据えたプランを作成

中に、自治協委員就任の依頼があり、これも何かのご縁と引受けました。

委員になって4年、多くのことを学び、ご指導ご支援いただきました。

これからも西区の観光産業づくりを目標に頑張ります。今後ともご指導ご協力、よろしくお願い致します。

西区自治協議会では、地域が抱える課題をしっかりと受け止め、誰もが心豊かに暮らせる地域づくりを目指して、様々な意見交換を行ってきました。そして、吸い上げた意見を行政へ伝え、理解と協働を求めてきました。
意見交換をとおして、親しくなったと思っただけでもお別れです。退任する委員から、これまでの活動を振り返っての想いをお話しいただきました。

第4期取り組みができました！ 今、部会が熱い〈総集編〉

第4期西区自治協議会が始動して2年。防災、除雪、子育て、高齢化、公共交通、農業などの地域課題を検討し、活動してきた3つの部会。

区制のあり方について、広報紙の発行、西区アートフェスティバルの企画など、今期から新たに発足した3つのプロジェクトチーム。

それぞれの活動内容について、2年を通じて「今、部会が熱い」と題し特集してきましたが、第4期の終わりにあたり『総集編』として会長・各部長より成果と課題について振り返っていただきます。



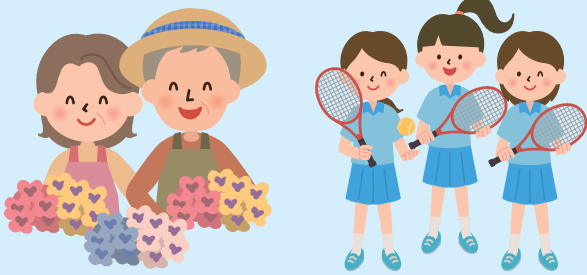
第4期の活動を振り返って

会長 真嶋 民雄



33名中24名が新委員で始まった第4期は、少子高齢化の社会下における、教育、生活環境、公共交通、コミ協への財政支援など西区の諸課題について、学び、出向き、議論をしてきました。

会長の力量不足を委員及び事務局各位のお力添えでカバーしていただき一定の成果をあげ、第5期へたすきを渡すことができました。自治協の一層の充実を祈念いたします。ありがとうございました。



第1部会

防災・防犯
自然環境・住環境

部会長 笠原 哲男



第1部会の部会長を務めて、1年と10カ月が経ちました。和やかな雰囲気でごここまでこられたのも、皆さんのおかげです。
平成27年度は、講演会を予定していません。自治協議会がより活発な議論の場となることを目指すとともに、若い世代の参加を期待しています。



第2部会

保健福祉
文化・教育

部会長 宗村 瑞枝

福祉・教育分野を担当しました。第4期の初年度は、第3期からの引き継ぎ課題である「いじめ」をテーマに、講演会やCAPプログラム体験事業を開催しました。

今年度は、「高齢化」をテーマに社会学者の上野千鶴子さん、「絵本」をテーマに絵本作家のさとうわきさんを迎えて講演会と親子で楽しむ絵本の時間の事業を企画し開催することができました。多数の方に関心を持っていただけたことが今期の大きな収穫です。次期につなげるために、身近なテーマの課題検討が重要だと考えています。



第3部会

農林水産業
商工業・交通

部会長 近藤 武雄

- 良かったこととして、次の2つを挙げます。
- ① 「西区生活交通改善プラン」を15コミ協のアンケートを集約し、地域の声を反映させるため、部会及び自治協での討議を踏まえて、西区地域公共交通検討会議でまとめあげることができました。
 - ② 「佐潟の保全と活用」「潟普請」地域連携事業「『おいしい！』を言葉にく」特産品から考える味の表現」の2つの提案事業を企画し、地域課のスタッフや大学生と共同で取り組むことができました。



プロジェクトチーム1

区制のあり方
区役所整備及び
区内施設の新設・用途変更

部会長 福島 富



「地域（区）における自治の深化について」*は、自治協委員や区民の声を踏まえての提案に努力し、1号委員の再々任、全体会の基本ルールづくりなどの要望を市の最終案に反映させることができました。

これからも住民自治の生きる西区づくりの議論を深めることが大切です。

*地域（区）における自治の深化について…1号委員（コミ協選出委員）の再任についてや全体会のルールづくりなどについて検討

プロジェクトチーム2

自治協広報紙の編集

部会長 酢山 省三

西区自治協活動を報せる広報紙「西区を豊かに」を年間計画の4回、第4期通して8回発行することができました。

特に各部会が取り組んで区民・市民から喜ばれた提案事業を継続的に掲載し、自治協の姿を知ってもらうことに努めました。

また、読者座談会やアンケート付のクロスワードパズル等、双方向の編集で読んでもらえる紙面づくりにも取り組みました。

引き続き「読まれる広報紙」をめざして、継続的に発行するための編集スタッフの確保、研修等が求められています。



プロジェクトチーム3

西区アートフェスティバルの企画・実施

部会長 丹治 嘉彦



一昨年と昨年の秋に「西区の宝、音楽の力」という企画を自治協議会の皆さんと、そして行政の方々と一緒にさせていただきました。この催しは、蓋を開けるまでどんな物語が生まれるか不安なところがありました。

しかしながら、いざ舞台の幕が開くと音楽等の楽しさ、そして表現のダイナミズムが広がっていました。これからもこの表現が続く事を願っています。



内野の朝市

70年以上の歴史を誇る「内野の朝市」を訪ねました。

毎月1日・15日の午前9時頃から、JR内野駅に沿った小路にたくさんのお店が並びます。寒いこの時期には20店程ですが、それでも、野菜・果物・魚介・乾物・花屋そして洋品店が並んでいました。暖かくなると、近郷の農家の店も並び、品物も豊富になりお客さんも増えるそうです。

店主とお客さんの掛け合いが楽しい、内野の朝市にぜひ出かけてみてください。
(広瀬)



内野コミュニティ協議会

内野コミュニティ協のエリアは内野小学校区で「子育て支援事業」「虹の部屋」「もちつき大会」「年4回の広報誌発行」などの事業を実施しています。

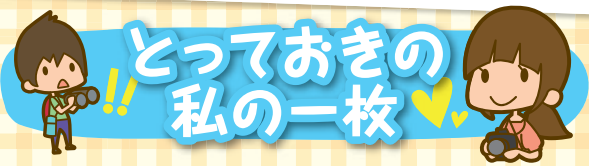
内野地区では、平成26年10月に内野駅自由通路と駅舎の橋上化が完成し、平成28年度中には駅前周辺の再開発に併せて、路線バスの乗り入れが見込まれています。

また、ほぼ同時期に西出張所との合築で「多目的集会施設」が完成する予定で、内野地区は

大きな変貌の時期を迎えようとしています。

(内野コミュニティ協議会)

会長 加藤 惇二



- ・タイトル 佐潟
- ・一言コメント さあ～出発だあ～♪今日は何処に食事に行くのでしょうか。
- ・ペンネーム 志賀 信正

新春お年玉付き クロスワードパズル回答

答え にしくを げんきに

皆様から306通の回答をお寄せいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。

いただいた広報紙や自治協活動への感想は、広報紙の編集委員をはじめ自治協委員にとつて、これまでの活動の評価でもあります。ご指摘いただいた点は真摯に受け止め改善することも、褒めていただいた点は今後も継続していきたいと思えます。

図書カードの当選者20名は、3月5日のプロジェクトチーム2会議終了後、抽選により選ばせていただきました。当選者の発表は、図書カードの発送をもって代えさせていただきました。



募集 しています

広報紙や自治協議会活動 についてのご意見

◆送付先/住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙1面の「事務局」あてに送付を。郵送または電子メールにてお願いします。

とっておきの私の一枚

◆あなたの「自慢の写真」(家族・ペット・風景・イベント等)に住所・氏名(氏名は必須、ペンネームがあればペンネーム掲載・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください)(電子メール可)。◆採用者には千円の図書カードを贈呈。◆応募された写真は返却しません。◆締め切り5月末日(次号掲載予定)。◆送付先/広報紙1面の「事務局」あて。

編集後記

年4回発行方針を実行して3年間で第13号到達。公募委員となったH23年11月に起案し、翌年3月1日創刊。創刊号を手にした時の嬉しさは格別。28もの題名案から委員投票で「西区を豊かに」を選定(酢山の案は1票のみ)。題名もロゴマーク(すいか坊や)も新大の学生の提案。激励いただいた歴代会長及び委員、地域課スタッフに編集長として感謝。今後も「西区を豊かに」をこの期待!(酢山)